

平成23年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価等報告書

平成24年10月1日

西都市教育委員会

報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、報告書を提出する。

平成24年10月1日

西都市教育委員会

委員長 橋 口 玄 郎

○自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなった。

西都市教育委員会としては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その効果等を踏まえて改革に取り組んできたところである。

教育政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは施策を的確に遂行するとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要であることから、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を行うこととした。

○点検・評価について

「教育委員会の活動」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの項目に大分類した。

項 目	点検・評価方法
大項目 1 教育委員会の活動	教育委員会の会議の運営改善、保護者や地域住民への情報発信などを中項目とし、それぞれに小項目を設定して点検・評価を行う。
大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務	西都市教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき中項目を設定して点検・評価を行う。
大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	当初予算に計上された事務事業に対する実績、評価及び課題等を行い、その達成度を5段階評価とする。 評価5 達成度100% 評価4 達成度概ね80% 評価3 達成度概ね60% 評価2 達成度概ね40% 評価1 達成度20%未満

○評価委員会について

「教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱」に基づき、委員3名を委嘱し、上記の点検・評価の結果について意見等を求め、その客観性及び透明性を確保する。

○公表について

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書」を議会へ提出するとともに、市のホームページで公表する。

西都市教育委員会の自己点検・評価シート

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会の 会議の運営改 善	① 教育委員会会議の 開催回数	定例会を毎月1回開催した。また、必要に応じ臨時会を4回開催した。上程議案は30件であり、全件とも承認であった。
	② 教育委員会会議の 運営上の工夫	定例会において2か月後の定例会開催日時を決定し、全員出会できるよう調整した。また、会議の5日前までに資料を事前配付した。このことにより各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討ができた。
(2) 教育委員会の 会議の公開、 保護者や地域 住民への情報 発信	① 教育委員会会議の 傍聴者の状況	傍聴希望の申し込みはなかった。委員会開催日について、平成24年2月開催分からホームページへの公開を実施した。
	② 議事録の公開、広 報・公聴活動の状 況	教育委員会会議の議事録について、平成24年1月からホームページへ公開した。平成23年12月までの議事録の開示請求はなかった。
(3) 教育委員会と 事務局との連 携	① 教育委員会と事務 局との連携	委員会の会議が事後承諾にならないように、事前に資料提供を受け、各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討を行った。平成23年度も、会議1週間前の情報提供が、概ね達成できた。
(4) 教育委員会と 首長部局の連 携	① 教育委員会と首長 との意見交換会の 実施	下記のとおり首長部局との連携を図った。 ・市長に全教育委員より「西都市立小中学校の学校再編に関する西都市教育委員会方針」を提出した。 ・県教委及び市長と教育委員長が高校再編について意見交換を行った。 ・市長、副市長と教育長の調整会議を2回開催した。
(5) 教育委員の自 己研鑽	① 研修会への参加状 況	下記のとおり研修を行った。 ・九州地区市町村教育委員研修大会に全員参加 ・宮崎縣市町村教育委員研究大会に全員参加 ・児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に4名参加 ・九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・宮崎縣市町村教育長連絡協議会研修会に教育長が参加
(6) 学校及び教育 施設に対する 支援・条件整 備	① 学校訪問	全ての小中学校（分校を含む）の学校訪問を実施し、教育課程及び学習指導、生徒指導について適切な指導助言を行うことができた。学校ごとに隔年で県教育委員会に支援を求め、県との合同訪問を行っており、23年度は7校で実施した。
	② 所管施設の訪問	12月の定例教育委員会を西都市民会館で開催し、施設の視察を行った。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定に関する事 こと	平成23年度教育基本方針並びに教育施策の内容を検討し、平成24年度教育基本方針並びに教育施策を定めた。（3月定例会）
(2) 学校その他の教育機関の設置 及び廃止に関する事 こと	23年度中の設置・廃止はなかった。
(3) 教科内容及びその取扱いの一 般方針の決定に関する事 こと	小中高一貫教育に伴う「さいと学」「セレクト国語」「セレクト算数」「英語活動」「英会話科」「英語表現科」の充実を目指し、各学校の実態に応じた異校種間の乗り入れ授業の推進を図った。

中項目	点検・評価
(4) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免に関すること	平成24年4月の人事異動に際し、市長部局からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。
(5) 県費負担に係る校長の任免及び人事並びに県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	平成24年4月の人事異動に際し、県の人事異動方針をふまえ人事に関する内申を行い、概ねその意向が異動に反映された。
(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針及び分限(本人の意に反する場合)又は懲戒に関すること	教育委員会事務局の人事については、市長部局と交流を図るなど協議を行った。 分限及び懲戒については市長部局の基準を準用した。 県費負担教職員の人事については、県教育委員会にて対応した。 分限及び懲戒については、市町村立学校職員の分限に関する条例及び市町村立学校職員の懲戒に関する条例により県教育委員会にて対応した。
(7) 学校その他の教育機関の敷地の設定又は変更に関すること	23年度中の設定・変更はなかった。
(8) 教育委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること	「西都市立学校管理規則」など規則4件、規程2件の制定・改廃を行った。
(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関すること	下記のとおり原案の承認を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算 (8月定例会) 1件 ・9月補正予算 (9月臨時会) 1件 ・12月補正予算 (11月定例会) 1件 ・3月補正予算 (2月定例会) 1件 ・新年度予算 (2月定例会) 1件 ・その他法改正等に伴う条例改正等の原案 3件
(10) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任命又は委嘱に関すること	下記のとおり任命又は委嘱した。 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市社会教育委員の委嘱 (6月定例会) ・西都市公民館運営審議会委員の委嘱 (6月定例会) ・西都市市立図書館協議会委員の任命 (6月定例会) ・西都市文化財保存調査委員会委員の委嘱 (8月定例会) ・西都市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱 (3月定例会)
(11) 校長及び教職員の研修の一般方針の決定に関すること	平成23年度教育施策を検討する中で、教職員研修の充実に関する内容を定めた。(議会の承認により、平成24年度から教育先進地視察研修を実施することとした。)
(12) 通学区域の設定又は変更に関すること	平成23年度中の設定・変更はなかった。
(13) 西都市文化財保護条例による文化財の指定及び解除に関すること	平成23年度は指定候補2件(ナウマン象化石・毛抜形太刀)について、文化財保存調査委員会にて審議を行い、指定することで結審した。平成24年度4月定例会教育委員会に建議、答申を受け5月に告示した。
(14) 請願、陳情及び訴訟又は異議の申立てに関すること	23年度中の訴訟・意義の申立てはなかった。
(15) 行政手続法及び西都市行政手続条例に基づく審査基準及び処分基準の制定又は改廃に関すること	23年度中の制定・改廃はなかった。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目 1 学校教育の充実

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
<p>教育委員運営事業</p>	<p>【目的】 地方自治法において設置が義務付けられる教育委員会において、教育方針の決定等を行うために必要な支援をすることを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 教育委員会会議 教育方針の決定、教育委員会事務局に関する議案等について、調査・審議を行う。 (1) 定例教育委員会 (毎月1回) (2) 臨時教育委員会 (随時)</p> <p>2. 学校訪問 市内小中学校における教育課程、学習指導及び生徒指導等について、教育委員より指導助言を計画的に行う。</p> <p>3. 教育委員研修会・連合会総会等 教育委員の資質向上、先進地情報の取得及び情報交換等を目的に会議、研修会へ出席により教育行政に反映させる。</p> <p>【効果】 定期的な教育委員会会議の開催により意思形成を円滑に進めることができ、また、教育委員の資質向上及び情報取得等を目的に委員が総会及び研修会等に参加することにより、その成果を教育方針及び教育行政へ反映することができる。</p> <p>【指標】 教育委員会開催回数 15回 【平成23年度当初予算額】 2,592千円</p>	<p>1. 教育委員会会議 ・ 定例会 12回 (毎月1回) ・ 臨時会 4回 (随時) ・ 上程議案 30件 (全件承認) ・ 教育方針の決定 3月定例会</p> <p>2. 学校訪問 ・ 市主催 8校 ・ 県市合同 7校 3. 教育委員研修会・連合会総会等 ・ 宮崎県市町村教育委員会研究大会に全員参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会総会に全員参加 ・ 児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に4名参加 ・ 九州地区市町村教育委員研修大会に全員参加 ・ 九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・ 宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会に教育長が参加 ・ 宮崎県市町村教育委員会連合会総会に2名参加 ・ 市町村教育委員会委員長・教育長会議に2名参加 ・ 宮崎県都市教育長協議会に教育長が参加(4回) ・ 宮崎県教育委員との意見交換会・情報交換会に2名参加</p> <p>【実績】 教育委員会開催回数 16回 【平成23年度決算額】 2,523千円</p>
<p>事務局管理費</p>	<p>【目的】 諸ニーズに即した学校区再編、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価など、教育の充実及び教育委員会事務局の運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 教育長公務調整事務 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価事務 3. 学校再編に係る事務 4. 教育委員会表彰事務 5. 利付国債の管理事務 6. 奨学生等選考委員会による奨学生等の選考事務 7. 教育委員会マイクロバスの運行管理 8. 小中学校の文書送達及び回収業務</p> <p>【効果】 教育委員会による教育方針を受けて生じている教育委員会事務局事務について、学校教育及び社会教育の枠を超えたこの事業で行うことで、効率的に運営することができる。</p> <p>【指標】 教育に関する事務の点検及び評価に係る委員会開催回数 1回 【平成23年度当初予算額】 8,005千円</p>	<p>1. 教育長公務を教委定例課長会 (月1回) 時及び随時に調整 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を9月に市議会に報告し、10月にホームページで公開 3. 「西都市立小中学校の学校再編に関する西都市教育委員会の方針」を9月に市長並びに議長に報告。 4. 小学生3名、中学生9名・3組を教育委員会表彰 5. 利付国債の満期に伴う新規買付件数 2件 6. 奨学資金基金の新規貸付数 4名 7. 教育委員会マイクロバス稼働日数 142日 8. 小中学校の文書送達及び回収業務を(社)西都市シルバー人材センターへ業務委託し実施。 上記のほか、下記の研修を実施した。 ・ 妻南小学校南校舎改築検討委員会及び事務局により、耐震補強(パラレル工法施工) 学校施設先進地研修を実施</p> <p>【実績】 教育に関する事務の点検及び評価に係る委員会開催回数 1回 【平成23年度決算額】 6,580千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
教職員住宅管理事業	<p>【目的】 教職員住宅の維持管理に要する経費。</p> <p>【内容】 教職員住宅33戸の維持管理費。主なものは、修繕費、借地料など。</p> <p>【効果】 ほとんどの教職員住宅が学校の近くにあり、緊急時に対応ができる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 3,209千円</p>	<p>下記のとおり教職員住宅の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕件数 15件 ・敷地賃借件数 7件 ・未入居戸数 2戸 <p>【平成23年度決算額】 3,116千円</p>
山村留学振興事業	<p>【目的】 銀鏡地区における地域教育の振興及び地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 山村留学制度実施事業に対する支援 西都市山村留学制度実施事業補助金交付要綱に基づき、山村留学児童生徒が銀鏡地区において生活することとなる家庭(里親)に対する委託料(留学児童生徒が生活等行ううえで必要となる最低限の費用)、地域住民との交流経費及び山村留学制度PR費等の一部について補助し、地域教育の振興及び地域の活性化を図る。</p> <p>2. 銀上小学校・銀鏡中学校に係る区域外就学児童生徒の通学に対する支援 西都市立銀上小学校及び銀鏡中学校に係る区域外通学生に対する通学助成金交付要綱に基づき、区域外通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図る。</p> <p>【効果】 地域教育の維持が可能となると共に、地域活動の充実による地域活性化と地域経済に対する効果が生じている。また、山村留学制度を銀鏡地区のPRツールとすることにより、銀鏡地区の情報発信効果、更には高付加価値化を併せて図ることができている。</p> <p>【指標】 山村留学児童生徒数(区域外就学児童生徒数) 13名(2名)</p> <p>【平成23年度当初予算額】 6,360千円</p>	<p>下記のとおり山村留学に対する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥日向銀上山村留学実行委員会に対し、里親経費や広報活動経費等を対象とした補助金を交付した。 ・銀上小学校及び銀鏡中学校に係る区域外通学生に対し、保護者の負担軽減を図るため、助成金を交付した。 <p>【実績】 山村留学児童生徒数(区域外就学児童生徒数) 14名(2名)</p> <p>【平成23年度決算額】 5,730千円</p>
小学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、児童生徒の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【指標】 小学校の耐震化率 50.0%</p> <p>【平成23年度当初予算額】 125,379千円</p>	<p>下記のとおり小学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 6名 ・委託件数 31件 ・警備、空調設備保守、耐力度調査ほか ・備品購入件数 17件 児童用机椅子、コピー機ほか <p>【実績】 小学校の耐震化率 50.0%</p> <p>【平成23年度決算額】 118,679千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
小学校教育振興事業	<p>【目的】 小学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 学校内での各種行事や授業を充実させるため、必要な教材や図書など整備を行うことで、各学校で定めた教育目標の達成や児童生徒の学校生活・授業の充実が図られ、学校教育が推進する。また、各法令の規定に基づき補助及び扶助を行うことにより、児童生徒の保護者の負担軽減を図り、義務教育の円滑な運営を図ることができる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 25,348千円</p>	<p>下記のとおり小学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 67件 ・教材備品、児童用図書、理科備品 77名 ・遠距離通学補助交付児童数 59名 (4km以上) ・第2条第1号該当 18名 (指定する学校でバス利用) ・第2条第3号該当 124名 ・就学援助児童数 124名 <p>【平成23年度決算額】 23,998千円</p>
中学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること</p> <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、児童生徒の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【指標】 中学校の耐震化率 78.9%</p> <p>【平成23年度当初予算額】 98,313千円</p>	<p>下記のとおり中学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 5名 ・委託件数 29件 ・警備、空調設備保守、耐力度調査、耐震補強設計、改築工事実施設計ほか工事件数 ・散水栓設置工事 10件 ・備品購入件数 10件 ・生徒用椅子、エアコンほか <p>【実績】 中学校の耐震化率 78.9%</p> <p>【平成23年度決算額】 94,207千円</p>
中学校教育振興事業	<p>【目的】 中学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 学校内での各種行事や授業を充実させるため、必要な教材や図書など整備を行うことで、各学校で定めた教育目標の達成や児童生徒の学校生活・授業の充実が図られ、学校教育が推進する。また、各法令の規定に基づき補助及び扶助を行うことにより、児童生徒の保護者の負担軽減を図り、義務教育の円滑な運営を図ることができる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 22,680千円</p>	<p>下記のとおり中学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 42件 ・教材備品、児童用図書、理科備品 12名 ・遠距離通学補助交付生徒数 12名 (6km以上) ・第2条第2号該当 70名 ・就学援助生徒数 70名 <p>【平成23年度決算額】 21,884千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
幼稚園奨励事業	<p>【目的】 所得に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減し、もって幼稚園教育の振興に資する。</p> <p>【内容】 文部科学大臣が裁定する補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園（公立幼稚園なし）に在園する満3歳以上の幼児の保護者で本市に居住する者に対して保育料等を減免する当該幼稚園設置者へ補助金を交付する。補助額は同一生計全員の市民税課税状況に応じ5段階に分けられ、各々年間限度額が設定されている。なお、保護者に対する補助限度額（文科省通知）は年々微増傾向にある。また、平成18年度より少子化対策関連として、小学校低学年に兄弟がいる世帯についても第2子以降の優遇措置の対象とする条件緩和が追加された。</p> <p>【効果】 文科省通知により増設された「多子軽減」については、保護者の第2子以降の出産・子育て等に前向きになれることから少子化対策の一助となることが期待できる。また、毎年文科省により通知される保護者への年間補助限度額を100%本市にも反映することで、保護者の経済的負担の軽減を図れることはもとより、転入してくる世帯にも幼稚園教育への振興に資する本市をアピールすることが期待できる。</p> <p>【指標】 本市年間補助限度額÷文科省通知年間補助限度額＝1.00 【平成23年度当初予算額】 26,640千円</p>	<p>5</p> <p>下記のとおり幼稚園教育の振興を図った。 ・補助金交付幼稚園数 6園 ・補助金交付園児数 202名</p> <p>【実績】 本市年間補助限度額÷文科省通知年間補助限度額＝1.00 【平成23年度決算額】 25,315千円</p>
教育振興事業	<p>【目的】 学校教育の充実を図る事を目的とする。</p> <p>【内容】 学校教育の充実を図るため、以下の事業を行う。 ・教育指導に関すること ・就学指導に関すること ・教育文化に関すること ・教科用図書及び副読本に関すること ・教職員の研修に関すること ・市内中学校等における外国語指導助手（ALT）配置業務に関すること</p> <p>【効果】 学校教育の充実に寄与する。</p>	<p>4</p> <p>市内小中学校の学校教育の充実を推進するため、以下の事業に取り組んだ。 ・市内全小中学校への学校訪問を実施し、教育課程及び学習指導、生徒指導について適切な指導助言等を行った。 ・地域との連携を図るため、全小中学校に学校評議員を委嘱し、評価と意見を聞く機会を設けた。また、教育委員会としても各校長から学校経営についての説明を受ける機会を設けるなどして、適正な学校経営についての指導助言等を行った。 ・三財中、穂北小を指定研究校とし、三財中では一貫教育に関する研究発表を行った。また、三納中は、県のNIE実践指定校として、新聞を授業に活用する取組を行った。 ・市主催の教職員研修（初任者研修、初任者研修、授業力brush-up研修等）を企画実施、また県の主催する教職員研修へ積極的に参加させることで、指導力の資質向上に努めた。 ・外国語指導助手（ALT）の業務委託を実施し、市内中学校へ配置することで、外国語教育の充実を図った。 ・就学相談の実施、幼稚園、保育所等関係機関との連携を通し、就学前児童への相談・観察等を行い、就学指導委員会を開催する中で、適切な就学指導を行った。 ・教育支援センター「みつばルーム」の開設や指導員の相談活動を通して、不登校児童生徒等問題を抱える子ども等の自立支援を行った。また、スクールアシスタント3名を学校に設置し、幅広い教育相談活動を行った。 ・教育文化祭を開催し、小中学生の豊かな人間性を養う機会とした。 ・社会科副読本「わたしたちの西都市」「少年遣欧使節 伊東マンシヨ」の増刷を行い、補助教材として役立ててもらったことで教育の充実を図った。</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
		<p>・各教科等部会、生徒指導推進協議会、人権教育推進協議会等への事業補助を行い、学校教育・生徒指導等の充実を図った。</p> <p>・西都児湯地区の事務局として、平成24年度から使用する中学校用教科用図書の状態を行った。</p> <p>なお、上記のほか、指導主事の増員を図るなど学校の支援をとおして教育の充実に努めているものの、子どもたちに十分な学力がついているとは言えない現状である。</p> <p>【平成23年度決算額】 15,639千円</p>
<p>学校生活介助員事業</p>	<p>【目的】 学校生活介助員を派遣することで、小中学校に在学する障がい等を持つ児童生徒が、支障なく安全に学校生活を送ることができ、目的とする。</p> <p>【内容】 介助が無くては学校生活において支障があると認められる児童生徒に対し、学校内における身辺処理、移動、校外活動等の介助を行うための学校生活介助員の派遣を行う。</p> <p>【効果】 介助を行うことで、介助を必要とする児童正当の安全な学校生活が確保できるとともに、学校及び教員の負担の軽減ができる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 17,304千円</p>	<p>4</p> <p>小学校4校、中学校1校の計5校14名児童生徒に対して12名の学校生活介助員を派遣し、介助を必要とする児童正当の安全な学校生活が確保できるとともに、学校及び教員の負担の軽減ができた。</p> <p>なお、対象者への生活介助員派遣については要望に十分対応できていたと考えているが、その成果について保護者の意見を聞くなどの連携が十分にとれていないとまでは言えなかった。</p> <p>【平成23年度決算額】 14,530千円</p>
<p>総合的な学習の時間等の学社連携・融合支援事業</p>	<p>【目的】 地域の人々との交流や地域の文化や自然に触れる体験活動、児童生徒の自主的な活動を通じて、児童生徒の郷土愛を深めるとともに、自発性や探求心を育てる各学校の取組を充実させることを目的とする。</p> <p>【内容】 総合的な学習の時間及び生活科等の時間に地域の方々を講師に招くなどして、地域との連携や交流を取り入れた学習活動を支えるための報償費や一般消耗品費を予算化し、各学校を支援する。</p> <p>【効果】 児童生徒の探求心が育つとともに、地域の方を敬う気持ちや地域の自然や文化を守っていくようとする心情と態度を育成できる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 1,667千円</p>	<p>5</p> <p>小中学校に延べ70名以上の講師を招聘し、地域の歴史や自然にふれるとともに、伝統文化や農業、昔の遊びを体験するなど地域の方々との交流を通じた学習活動を支援できた。</p> <p>【平成23年度決算額】 1,232千円</p>
<p>教育研究センター運営事業</p>	<p>【目的】 西都市独自の教育研究機関を設置し、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行うことを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市の教育的課題を解決するために以下についての調査研究を行う。 (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること (2) 教育関係職員の研修に関すること (3) 研究結果の普及に関すること 市内の小中学校から15名の研究員を委嘱し、毎月研究会を開催し、市内全小中学校の教諭等が参加する研究発表会を年度末に開催する。 また、その研究成果は県の研究機関の発表会でも発表を行う。</p>	<p>5</p> <p>・研究員を「さいと学研究班」「英語教育研究班」「学力向上研究班」の3班に編制し、毎月2回程度の研究会を開催し、調査研究を行った。</p> <p>・「さいと学研究班」では、これまでの3年間の取組を検証評価し、郷土を愛する子ども達が確実な育つことにつながっていることをアンケート等の実施により確認できた。また、参加型のデジタルコンテンツの充実により、これまでに各学校のさいと学の学習がスムーズに行えるようになった。</p> <p>・「英語教育研究班」では、教科等研究会、一貫教育作業部会のパイプ役として西都市英語教育の充実を図った。また、小学校からの英語教育の授業改善と授業力向上についても取組み、研究授業等を行った。授業以外においても小学生英語力研修、中学校英語暗唱・弁論大会に積極的に関わり、児童生徒の英語への理解と関心を高めるとともに各学校における指導への活用等を図った。</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【効果】 市の教育課題等について、15名の小中学校教諭等によって調査研究を行い、各校での取組の参考となる研究成果を上げている。特に現在西都市独自で取り組んでいる一貫教育に関わる事業等の準備・計画などにこの研究成果を活用し、教員の指導力向上が期待される。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 1,020千円</p>	<p>「学力向上研究班」では、県のWeb学習単元評価システムと連動した取組として、“西都問題(仮称 西都テスト)”を作成した。この活用により適正な学力の状況把握が可能となり、より個に応じた指導が可能となった。また、家庭学習にも活用ができるようになり、児童生徒の主体的学習の促進にもつながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末には市教育研究センターの研究発表報告会を開催するとともに、県教育研究機関研究発表大会において研究成果の発表を行った。 <p>【平成23年度決算額】 825千円</p>
<p>小中高一貫教育推進事業</p>	<p>【目的】 平成20年度から開始している連携型一貫教育であり、小中高12年間の継続的計画的な指導により、西都の子ども達の郷土愛の育成や学力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 小中高12年間を通した教育活動を基盤に、西都市のことや生き方について学習する「さいと学」、小学校1年生から始める英語教育の「小学校英語活動」「小学校英会話科」「中学校英語表現科」、総合的な学習の時間を活用して基礎学力の向上を目指す「セレクト算教」「セレクト国語」を実施し、さらに教師の相互乗り入れや児童生徒の交流活動を行う。</p> <p>【効果】 学校種間の接続・移行を円滑に行い、地域に自信と誇りを持ち、地域に貢献する人材の育成と確かな学力の定着が期待される。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 15,468千円</p>	<p style="text-align: center;">4</p> <p>連携型一貫教育を推進するため、以下の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの英語教育の充実に向けて、日本人非常勤講師3名と外国人指導助手1名を雇用し、小学校へ配置することで、きめ細かな英語教育を行った。 ・宮崎国際大学との連携協定を締結し、小学校6年生全員を対象とした小学生英語村体験研修を行い、国際理解と英語への興味関心を高めることができた。 ・英語活動教材「We Love SAITO」の増刷を行い、小学生の英語教育の充実に努めた。 ・英語検定については、小学校6年生、中学校2～3年生全員を対象として実施した。実際の受検者は小学生329名、中学生841名で、小学生の児童英検の正答率は84.4%と高く、中学生は48.3%の合格率であるが、準2級を受検した生徒が36名もいるなど着実に英語力が身に付いていることがうかがえる。 ・漢字検定については、小学校4～6年生、中学校1年生全員を対象として実施した。実際の受検者は小学生914名、中学生313名で合格率はそれぞれ78.12%、34.19%であった。小学生の合格率は高く、中学生は小学生時点で合格している級数より上位級を受検した生徒が多かったこともあり、合格率が低くなっている。 ・小中高一貫交流イベントを実施し、小中高校児童生徒283名の参加を得て異校種間交流を行い、一貫教育の醸成を促進した。 <p>なお、設置者が西都市である小・中学校については、十分な連携がとれていたが、設置者が異なる高校との連携については、交流イベントや教育研究センター発表会等の一部で連携がとれていたものの、十分に連携がとれていない状況であった。</p> <p>【平成23年度決算額】 12,896千円</p>
<p>学校保健管理費</p>	<p>【目的】 小中学校における児童生徒及び教職員の健康や保健衛生の保持・増進を目的とする。</p> <p>【内容】 児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する保健指導等を行うため、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校嘱託医、学校薬剤師に關すること ・児童生徒及び教職員の健康診断等に関すること ・就学時健診に關すること ・災害共済給付金に關すること ・準要保護児童生徒に係る医療扶助に關すること ・その他学校の保健衛生に關すること 	<p style="text-align: center;">4</p> <p>小中学校の保健衛生等の保持・増進を推進するために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校に学校医及び学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の健診を行うなど健康の保持増進や学校環境の保健衛生の維持・向上に取り組んだ。 ・各小学校に学校薬剤師を委嘱し、上下水、プール等の水質検査を行う等学校環境の保健衛生の維持・向上に取り組んだ。 ・学校保健大会を開催し、教職員、PTA等関係者約400名の参加を得ての学校保健に対する意識啓発に取り組んだ。 ・就学時健診(対象者266名)を実施し、平成24年度新入児童の健康状態等の把握に努め、就学指導委員会につなげるなど適切な教育の機会への提供等に努めた。 ・全教職員の健診を実施し、保健衛生上の教育環境の保持と労働安全衛生の確保に努めた。

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【効果】 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 19,340千円</p>	<p>・日本スポーツ振興センターの災害共済保険制度に加入し、児童生徒の学校管理上の傷病に対する申請・給付を行った。</p> <p>給付実績は、小学校177件929,924円、中学校172件1,346,318円であった。</p> <p>・必要保護児童生徒の歯科治療に係る医療扶助を行った。</p> <p>給付実績は、小学校32件253,870円、中学校4件38,620円であった。</p> <p>なお、児童生徒の健診や保健室備品等の充実、学校衛生管理等についてはほぼ目標通りであったが、必要保護児童生徒の歯科治療を延長するなどして受診を申請したものの、要治療者全員の受診ができず、未治療者が残った。また、教職員健診を健診項目別に2機関で実施したため、期間を要することとなった。</p> <p>【平成23年度決算額】 16,253千円</p>
小学校保健管理事業	<p>【目的】 小学校における学校保健及び学校安全の充実に目的とする。</p> <p>【内容】 ・小学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。 ・小学校保健室備品及び消耗品購入 ・児童の各種検査(寄生虫、尿、脊髄側わん) ・学校環境衛生指導(飲料水、プール水、ダニ検査等)</p> <p>【効果】 小学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童の安全の確保が図られる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 3,743千円</p>	<p>小学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の飲料水及びプール水の水質検査、各所のダニ検査を行い、プール用の消毒用薬品の配付を行った。併せて、学校薬剤師からの各教室・施設等についての学校環境衛生指導を行った。 ・児童の各種検査を行った。実績は、尿検査1,847名、寄生虫検査885名、脊髄側わん症検査312名であった。 ・保健室に必要な消耗品、医薬品及び備品を購入し、児童の応急処置等の資材提供と保健室の充実を図った。 <p>【平成23年度決算額】 3,428千円</p>
中学校保健管理事業	<p>【目的】 中学校における学校保健及び学校安全の充実に目的とする。</p> <p>【内容】 中学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。 ・中学校保健室備品及び消耗品購入 ・生徒の各種検査(尿、脊髄側わん、貧血) ・学校環境衛生指導(飲料水、プール水、ダニ検査等)</p> <p>【効果】 中学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒の安全の確保が図られる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 2,540千円</p>	<p>中学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の飲料水及びプール水の水質検査、各所のダニ検査を行い、プール用の消毒用薬品の配付を行った。併せて、学校薬剤師からの各教室・施設等についての学校環境衛生指導を行った。 ・生徒の各種検査を行った。実績は、尿検査885名、貧血検査519名、脊髄側わん症検査288名であった。 ・保健室に必要な消耗品、医薬品及び備品を購入し、児童の応急処置等の資材提供と保健室の充実を図った。 <p>【平成23年度決算額】 2,115千円</p>
給食センター管理費	<p>【目的】 「学校給食衛生管理基準」に基づいた、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市内の小中学校の児童生徒への学校給食提供に必要な管理運営を行う。 銀鏡地区を除く小中学校には、共同調理場方式で給食センターから提供している。銀鏡地区については、銀上小学校の調理室で調理を行い、親子方式で銀鏡中学校にも提供している。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食の提供を行うとともに、児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解と適切な判断力の養成が図られる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 90,707千円</p>	<p>給食センターにおいては、管理部門以外の調理業務、配送業務等を民間委託して、より効果的、効率的な運営に努めており、給食提供計画日数である小学校195日、中学校190日に対して、学校からの日々の要請に対応しながら、ほぼ計画どおり提供された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀鏡地区では、銀上小学校において直営での調理を行っており、銀鏡中学校への配送も支障なく行うことができた。 ・特に平成23年度は、「学校給食調理等業務民間委託に係る受託業者選考委員会」を開催し、平成24年度からの給食センター調理業務の受託業者の決定及び契約締結を行い、安定的な学校給食の提供ができる体制を整えることができた。 <p>【平成23年度決算額】 91,414千円</p>

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価
<p>共同調理場運営審議会事業</p>	<p>【目的】 共同調理場の適正かつ円滑な運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 教育委員会の諮問に応じ、共同調理場の運営に関する重要な事項について調査及び審議を行う。</p> <p>【効果】 第3者機関である審議会の答申に基づき共同調理場の良好な運営がでさる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 68千円</p>	<p>5</p> <p>・平成22年度の諮問に対する継続的な調査・審議を行うため、平成23年度は審議会を2回開催（合計5回）し、この結果をまとめ、平成23年10月に答申を受けた。</p> <p>・答申は、チェック体制の整備に向けての「異物混入等に対する安全対策」、危機管理体制の充実を図るための「食物アレルギーへの迅速・適切な対応の在り方」、地産地消を促進するための「食材調達効率化の在り方」、滞納給食費の解消に向けた「給食費の安定的確保の在り方」の4点の調査・審議に係る提言等、今後の共同調理場の運営に資する内容であった。</p> <p>【平成23年度決算額】 26千円</p>
<p>給食センター整備事業</p>	<p>【目的】 給食センター等学校給食施設における安全衛生上の維持整備を行うことで、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 建設後25年を経過し老朽化してきた給食センターの施設整備等を計画的に行う。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食を安定的に提供できる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 1,180千円</p>	<p>5</p> <p>計画に基づき、以下の整備等を行うことで安全でおいしい学校給食を安定的に提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食用食器かごの購入（170個） ・給食センターレボル釜整備（3台） <p>【平成23年度決算額】 1,174千円</p>

中項目 2 生涯学習の推進

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
<p>社会教育総務費</p>	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育の総合的な推進を図るため、市民の生涯学習相談及び指導、各種ボランティア及び社会教育関係団体の指導・養成等を強化する。 2. 豊かな人間性を養い、連帯意識や協調性に富んだ社会教育関係団体の育成充実に努める。 3. 年齢や生活体験の異なる子どもたちが集団のなかで役割と責任を認識し、自然体験や文化活動等、学校教育や家庭教育では得ることのできなものを提供する。 4. 青少年の問題行動や非行を未然に防ぐとともに健全育成を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関、関係団体等と連携を図りながら、地域ぐるみの青少年健全育成を目的とする。 5. 社会人としての自覚や責任、誇りを持たせ、西都市という故郷に想いはせ、今までもお世話になった方に感謝しつつ、社会参加を促進する。 6. 家庭教育はそれぞれの家庭の責任と判断に基づいて行うことが基本ではあるが、家庭教育に自信が持てなくなった親も見受けられることから家庭での教育について学ぶことのできる場の提供を行う。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館に2名(妻・東米良地区)・各地区館(東米良を除く)に1名の社会教育指導員を配置し、目的達成のため具体的な活動を行う。 2. 社会教育関係団体に対しての活動助成及び助言を行う。 3. 青少年健全育成事業として、ジュニア・リーダー教室・子ども会リーダー研修・市指定子ども会公開・子ども会イン・リーダー教室を行う。 4. 一研修の指導相談・関係機関との連携・巡回指導報告のまとめ・青少年健全育成市民大会を開催する。青少年育成センターに青少年指導員をおおき、指導及び相談にあたる。また、青少年指導委員(20名)を総括する。 5. 成人式典を開催する。 6. 家庭における子ども教育について、必要な知識を一定期間で、計画的・継続的に学習する機会を提供する。 <p>【効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会環境の変化に対応し、心身ともに健康で潤いのある市民生活を醸成していく。また、積極的な学習意欲を持たせ地域活動を行う。 2. 社会教育事業の推進母体として様々な社会教育活動を行っている。 3. 学校や家庭では体験することのできない自然のなかでの遊びや子ども会活動を通じて、自主性をもった行動や、協調性が培われ子どもたちの成長に大きく寄与し、また、子どもたちの育成に関し、地域と一体となった育成が推進できる。 4. 青少年の非行防止と健全育成に効果がある。 5. 成人式に参加して、郷土愛を育み、家族等のつながりを感じ取ってもらい、式典に参加し責任ある社会人を目覚める。 6. 同年代の子供を持つ親同士が、日常の出来事をはじめ、子ども達の様子を語り合うことから、子どもを多角的な視野で観ることができ、子どもへの理解が深まり、いろいろな疑問や問題等への解決の糸口を得ることので、子育てにゆとりを得ることができ。 	<p style="text-align: center;">4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育指導員 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区高齢者教室、地区家庭教育学級、夏休みチャレンジ教室及び地区館講座等の活動 2. 社会教育関係団体活動補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 西都市子ども会育成連絡協議会 ・ 西都市PTA協議会 ・ 西都市地域婦人連絡協議会 ・ 西都はにわ生活学校 ・ 遊びと文化のステーションハロキッズ ・ 日本ボーイスカウト西都第1団 3. 青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ インリーダー教室 (1月～3月) ・ 子ども会リーダー研修 (8月19日～8月21日) ・ ジュニアリーダー教室 (7月～3月) ・ 県ジュニアリーダー研修会 (8月12日～14日) ・ 指定子ども会公開 16子ども会 4. 青少年 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年健全育成市民大会 (7月2日) ・ 青少年指導委員による地域巡回指導 5. 成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新成人による成人式 (1月5日) 6. 家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児家庭教育学級 1学級 ・ 小中学校家庭教育学級 14学級 <p>なお、成人式の新成人参加率及び家庭教育学級数は指標に達しなかった。</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【指標】 活動助成団体数 6団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 60人 青少年健全育成市民大会参加者 370人 式典の新成人参加率 90% 家庭教育学級数 16団体 【平成23年度当初予算額】 15,186千円</p>	<p>【実績】 活動助成団体数 6団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 66人 青少年健全育成市民大会参加者 457人 式典の新成人参加率 80% 家庭教育学級数 15団体 【平成23年度決算額】 13,679千円</p>
公民館活動事業	<p>【目的】 社会教育法第20条(公民館は、住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする)により、実施している。</p> <p>【内容】 ◎市公民館・各地区講座の開催 パソコン講座、水彩画講座など約30種類の講座を開催。 ◎高齢者教室(6地区)の開催 地域における高齢者相互の意志疎通を図るとともに、健康で生きがいのある人生を過ごせるよう、受講生の学習要求に応じたプログラムで実施するもの。市内在住の65歳以上の男女が対象。 ◎このはな学園の開催 69歳以下の市民を対象に、学ぶ喜び、集う楽しさを知ってもらい、活き活きと様々なことを学習できる場として、このはな学園を開催。</p> <p>【効果】 多くの市民に学習の機会を提供できる。</p> <p>【指標】 市公民館・地区館講座受講者数 1,000人 【平成23年度当初予算額】 4,923千円</p>	<p>4</p> <p>1.市公民館・地区館講座の開設 ①市公民館講座数 16講座(381名参加) パソコン講座等 ②地区館講座数 パソコン講座等23講座(414名参加) 2.高齢者教室の開設 教室数 6教室 総計134名参加 妻地区28名 穂北地区27名 三納地区24名 都於郡地区12名 三財地区19名 東米良地区24名 3.このはな学園の開設 22名参加</p> <p>なお、西都市公民館及び地区館の講座受講者数は指標に達しなかった。</p> <p>【実績】 市公民館・地区館講座受講者数 951人 【平成23年度決算額】 4,301千円</p>
公民館維持管理事業	<p>【目的】 市公民館・各地区館・各学習等共用施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ◎市公民館の維持管理業務 ◎各地区館の維持管理業務 ◎各学習等共用施設(条例の56館中、社会教育課所管55館について)と鏡集会所の維持管理業務</p> <p>【効果】 使用に支障をきたさないよう維持管理が可能となる。</p> <p>【指標】 修繕料 1,125千円 【平成23年度当初予算額】 9,310千円</p>	<p>5</p> <p>管理施設 ①市公民館 ②穂北地区館・三納地区館・都於郡地区館・三財地区館・東米良地区館 ③学習等共用施設 55館、鏡集会所</p> <p>【実績】 修繕料 1,125千円 【平成23年度決算額】 9,045千円</p>
自治公民館活動助成事業	<p>【目的】 地域住民にとって、もつとも身近な存在として、また、生涯学習の活動の母体として重要な自治公民館組織に対して、その活動の支援及び施設維持のための補助金を交付する。</p>	<p>5</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【内容】 ◎各自治公民館活動への支援 ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 ◎自治公民館建設補助金制度の実施 ◎西都市特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金 【効果】 各自治公民館の活動支援と同時に組織として、各地区自治公民館連絡協議会、その上部団体の西都市自治公民館連絡協議会の育成を行うことにより、地域力の向上が図られる。</p> <p>【指標】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 132館 【平成23年度当初予算額】 7,654千円</p>	<p>◎各自治公民館活動への支援 (活動報償金1館につき30,000円) ◎西都市自治公民館連絡協議会への支援 (市補助金 360,000円) ◎自治公民館建設補助金制度の実施 (小野自治公民館トイレ等改修補助 420,000円) ◎西都市特定騒音区域内自治公民館施設空調機器設置補助金 (申請なし)</p> <p>【実績】 西都市自治公民館連絡協議会への加盟公民館数 132館 【平成23年度決算額】 6,587千円</p>
図書館管理事業	<p>【目的】 生涯学習の中核施設としてさらなる住民サービスを提供していくための施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ○情報化社会や市民ニーズに対応した図書館の整備充実及び施設の維持管理 ○図書館システムの活用 ○図書館空調機能復旧工事</p> <p>【効果】 図書館システムの活用により、貸出・返却・問い合わせ等照会業務、利用状況の把握等に迅速に対応することができる。また、図書資料の受注・受入、蔵書点検等の効率化や、インターネットでの蔵書検索と情報提供、宮崎県立図書館横断検索システムへの参加などが可能となる。空調設備等施設の整備充実や図書館システムの運用により、図書館サービスの充実が図れ、ひいては貸出冊数の増加や来館者の増加などの効果が期待できる。</p> <p>【指標】 貸出冊数 76,000冊 【平成23年度当初予算額】 13,891千円</p>	<p style="text-align: center;">5</p> <p>屋根防水工事を施工し、施設の維持管理に努めた。 また、図書館システムを活用し、図書館サービスの充実を図った。</p> <p>【実績】 貸出冊数 77,154冊 【平成23年度決算額】 17,514千円</p>
図書貸出事業	<p>【目的】 市民の教育と文化の発展に寄与するため、文献や資料の収集・整理・保存に努め、閲覧の場を提供するとともに、市民の様々な学習活動を支援する。</p> <p>【内容】 ○図書館資料の収集・整理・保存・提供 ○貸出文庫</p> <p>【効果】 図書館資料の充実を図ることで利用者の多様なニーズに応えることが可能となり、調べ学習など生涯学習の拠点となりうる。</p> <p>【指標】 購入冊数 (視聴覚資料含む) 3,500点 【平成23年度当初予算額】 5,183千円</p>	<p style="text-align: center;">4</p> <p>図書の実 蔵書数 (平成24年3月31日現在) 一般図書数 73,255冊 児童図書数 50,017冊 児童図書数 23,238冊</p> <p>なお、図書購入冊数は指標に達しなかった。</p> <p>【実績】 購入冊数 (視聴覚資料含む) 2,847点 【平成23年度決算額】 5,165千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
読書推進事業	<p>【目的】 本に親しめる環境づくりを図り、市民の読書意欲増進をめざす。</p> <p>【内容】 ○西都市小学生読書感想文コンクールの実施 ○図書館まつりの開催 ○読み聞かせ講演会 ○ブックスタート・ブックフォロー</p> <p>【効果】 各種事業を行うことで、市民が図書館や本に親しみを持つことになり、ひいては読書人口の増加につながる。 また、読み聞かせ講演会を実施することで、読み聞かせを行うグループや個人を支援でき、市内各所で読み聞かせ活動がひろがり、読書推進に効果が期待できる。</p> <p>【指標】 西都市小学生読書感想文コンクール応募作品数 80作品 【平成23年度当初予算額】 787千円</p>	<p>読書人口の拡大 (1) 図書の展示 (2) 読書感想文コンクールの開催 (3) 貸出文庫 (4) ブックスタート事業 (5) ブックフォロー事業 (6) 絵本の読み聞かせ (7) 子ども読書の日イベントの開催 (8) 図書館まつりの開催 (9) 読み聞かせ講演会の開催</p> <p>なお、小学生読書感想文コンクールの応募作品数は指標に達しなかった。</p> <p>【実績】 西都市小学生読書感想文コンクール応募作品数 72作品 【平成23年度決算額】 608千円</p>
生涯学習推進事業	<p>【目的】 生涯学習の推進を行う。</p> <p>【内容】 ◎生涯学習フェスティバルの開催 ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催 ◎地域教育推進事業 ◎自治公民館共同体験活動事業</p> <p>【効果】 生涯学習への参加人数の増が図られる。</p> <p>【指標】 生涯学習講座への参加者数 1,400人 【平成23年度当初予算額】 2,398千円</p>	<p>◎生涯学習フェスティバルの開催 (3/10・11に開催。延べ参加者数 約500人) ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催 (11講座 総参加者数258人) ◎地域教育推進事業 (妻地区 11/27に開催 総参加者 103人) ※その他の地区については、地域づくり協議会の事業となる。 ◎自治公民館共同体験活動事業 各地区各1館で実施 実施した6館 竹園自治公民館・立野自治公民館・平郡自治公民館・ 久下自治公民館・岩爪自治公民館・第59区自治公民館 【実績】 生涯学習講座への参加者数 1,812人 【平成23年度決算額】 2,297千円</p>
青少年研修施設管理運営事業	<p>【目的】 宿泊体験を通じて、子ども達の自主性、協調性、忍耐力を養う場として研修施設の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 勤労青少年、児童生徒及び指導者に研修の場を提供する。</p> <p>【効果】 施設利用を通じて、市内のスポーツ施設利用増や青少年の自主性、協調性、忍耐力を養い健全育成に寄与する。</p> <p>【指標】 宿泊者数 2000人 【平成23年度当初予算額】 2,802千円</p>	<p>スポーツ少年団、中学校、高校及び専門学校のスポーツ部活動による施設利用</p> <p>【実績】 宿泊者数 334人 【平成23年度決算額】 2,488千円</p>

中項目 3 市民文化の継承と創造

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
<p>文化財保存活用事業</p>	<p>【目的】 文化財の監視や委員会等、文化財の保存と活用に関連した事業を行う。また、伊東満所 (マンショ) 没後400年記念事業の推進を図る。</p> <p>【内容】 ○市内に所在する文化財の監視 (年2回) や査察 (文化財防火デー)、文化財保存調査委員会 (年2回) により貴重な文化財の指定を行う等保存と活用を図る。 ○諸開築に伴う緊急発掘調査を行い、事業の調整に資する。 ○伊東満所 (マンショ) 没後400年記念事業に関して式典・イベント等の具体的な検討を行う。</p> <p>【効果】 文化財の監視や査察、指定を行うことにより、保存と活用が図られる。また、伊東満所 (マンショ) 没後400年記念事業を行い、伊東満所 (マンショ) を顕彰することにより、西都市の活性化が図られる。</p> <p>【指標】 指定数 1件</p> <p>【平成23年度当初予算額】 2,653千円</p>	<p>5</p> <p>○文化財監視 史跡等の監視 8月、2月 文化財査察 1月31日 1回 文化財保存調査委員会 7月、2月 ○緊急発掘調査 個人住宅、農地再生工事に伴う天地返し等 ○伊東満所 (マンショ) 没後400年記念事業 ・市民創作劇 (補正) 脚本、実行委員会 ・ポスター、チラシ・シールの作成 (補正) ・推進委員会開催 年4回 ・式典 11月11日 (日) 都於郡城跡にて イベント 西都市歴史民俗資料館企画展、古地図で都於郡城跡散策、市民創作劇等 関連事業 マンショを語る学習会、ゆかりの地を巡るツアー、商店街関連事業等</p> <p>【実績】 指定 2件 (ナウマン象化石・毛抜形太刀) 平成24年4月建議、4月答申、5月告示 【平成23年度決算額】 4,277千円</p>
<p>日向国府跡保存整備事業</p>	<p>【目的】 日向国府跡保存管理計画に基づき、発掘調査 (確認調査) を行い、保存整備を進める。</p> <p>【内容】 日向国府跡指定地内において、遺構の特定及び保存整備データベース蓄積のための発掘調査 (確認調査) を年次的に行う。本年度は、正殿及び東脇殿の発掘調査を実施する。</p> <p>【効果】 日向国府跡については、西都原古墳群及び周辺整備構想においても日向国分寺跡・都於郡城跡同様観光の目玉として位置づけられており、日向国府の保存と活用が図られれば、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 5,658千円</p>	<p>5</p> <p>・発掘調査 (確認調査) 調査期間 平成23年5月～平成24年3月 調査面積 716㎡ 調査経費 5,000千円 調査概要 調査の結果、正殿跡は、桁行7間、梁行は2間の身舎2間に南北二面庇、東脇殿は、桁行10間、梁行は2間の南北棟であることが判明した。</p> <p>【平成23年度決算額】 5,608千円</p>
<p>文化財整備運用事業</p>	<p>【目的】 未指定文化財の調査や説明板の設置等文化財整備運用に関連した事業を行う。また、埋蔵文化財管理作業所等の運営を行う。</p> <p>【内容】 ○未指定文化財を指定するための専門的な調査を依頼する。 ○国・県指定文化財の説明板を設置する。 ○埋蔵文化財管理作業所の運営を行う。 ○オガタマノキ保全処理を行う。</p> <p>【効果】 未指定文化財の指定及び指定文化財の説明板を設置することで、文化財の保存と活用が図れる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 2,976千円</p>	<p>5</p> <p>○説明板の設置 清水西原古墳群、上穂北古墳群、三財古墳群 3基 315千円 ○埋蔵文化財管理作業所 電気、ガス、水道、コピー・プロッターリース等 ○オガタマノキ保全処理 委託期間 平成23年6月～9月 委託業者 服部樹木医事務所 委託経費 420千円</p> <p>【平成23年度決算額】 2,520千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
文化財維持管理事業	<p>【目的】市内に所在する史跡をはじめ、文化財関係施設の維持管理を図る。</p> <p>【内容】国原有古墳など日向国分寺跡・日向国分寺跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群等の史跡・木喰五智館・有楽権の里・都於郡城跡のトイレ等文化財関連施設の維持管理を委託して行う。</p> <p>【効果】史跡等の文化財及び関連施設の維持管理を行うことにより、活用が図れる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 10,612千円</p>	<p>5</p> <p>・史跡の管理 国原有古墳・日向国分寺跡・日向国分寺跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群・穂北城跡等史跡 11件 ・文化財関連施設の管理 木喰五智館・有楽権の里・都於郡城跡等のトイレ等 5件</p> <p>【平成23年度決算額】 9,773千円</p>
都於郡城跡法面保存整備事業	<p>【目的】自然災害等により法面の崩落及び亀裂が生じていることから、年次的に保護策を行う。また、城の性格や機能、保存整備データ蓄積のための発掘調査も年次的に並行して実施し、これらを基にした保存整備を行う。</p> <p>【内容】○興ノ城跡の北側及び南側法面について、ジオファイバー工法により保護工事を行う。 ○発掘調査は、本年度より三ノ丸跡を行い、遺構・遺物等の遺存状況を把握する。</p> <p>【効果】法面の保護により都於郡城跡の安定が図られ、発掘調査の成果を基に保存整備が行われることにより、観光の目玉として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 27,445千円</p>	<p>5</p> <p>○法面保護工事(法面設計測量含む) 委託業者 ㈱九州土木設計コンサルタント 委託期間 平成23年10月～11月 工事業者 ㈱伊達組 工事期間 平成23年12月～平成24年3月 総経費 25,100千円</p> <p>○発掘調査 調査期間 平成24年1月～3月 調査面積 196㎡ 調査経費 2,000千円 調査概要 調査の結果、三ノ丸跡では、これまでの曲輪のように柱穴群を検出できなかったことから、建う機能を有していること等が判明した。</p> <p>【平成23年度決算額】 27,323千円</p>
市内遺跡発掘調査事業	<p>【目的】事業課で予定されている諸開発事業に伴う発掘調査を嘱託員を採用して実施する。また、市内各地から発掘調査等で出土した貴重な鉄器類の腐食が著しいことから、保存処理を行い、永久保存をして、活用を図る。さらに、市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等を行う。</p> <p>【内容】○事業課において道路改良事業が予定されており、その事業に伴う発掘調査を嘱託員(埋蔵文化財専門員)を採用して対応する。 ○鉄器類について、専門の業者に委託して防錆・恒久化等の保存処理を行う。本年度は元地原地下式横穴等から出土した鉄器類の保存処理を実施する。 ○遺物の整理を行い、報告書作成の補助的な作業を行う。</p> <p>【効果】発掘調査については、調査の専門員を補充することによって、事業が円滑に進み、作業の効率化が図れる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 9,079千円</p>	<p>5</p> <p>○嘱託員(埋蔵文化財専門員) 1名 平成23年4月～平成24年3月</p> <p>○保存処理委託 委託物件 元地原地下式横穴墓等出土鉄器 57点 委託業者 (財)元興寺文化財研究所 委託期間 平成23年4月～平成24年3月 委託料 2,600千円</p> <p>○整理作業員 1名 平成23年4月～平成24年3月 市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等</p> <p>【平成23年度決算額】 6,290千円</p>

小項目(事業名)	目的・内容	点検・評価
文化振興事業	<p>【目的】市民の芸術文化の振興を図るため、西都市総合文化祭等の西都市主催事業及び市内の芸術文化団体を支援する。</p> <p>【内容】西都市総合文化祭として美術展と芸術大会を開催し、美術品の出品者や市内で活動する芸術団体の活動意欲の向上を図る。また、市内で活動する芸術文化団体の活動を支援するため、事業費補助を行い文化振興を進めていく。</p> <p>【効果】市民の文化意識が向上することにより、心が安定し生活意欲が向上する。また、市民に発表と鑑賞の機会を提供することにより、参加した人には更なる創造意欲の向上を、鑑賞した人には身近な地元の作品や芸能に触れることにより芸術文化活動への参加を促す。</p> <p>【指標】総合文化祭来館者数 1,300人 【平成23年度当初予算額】 2,342千円</p>	<p>西都市自主文化事業 ・懐かしの映画祭 (1月14日、15日) ・西都市合唱祭 (3月10日) 西都市総合文化祭 ・芸術展 出展総数 122点 (10月22日～29日) ・芸能大会 (11月3日) 芸術文化団体支援 西都市文化連盟、西都市美術協会</p> <p>なお、総合文化祭の来館者数は指標に達しなかった。</p> <p>【実績】総合文化祭来館者数 1,201人 【平成23年度決算額】 1,600千円</p>
歴史民俗資料館管理運営事業	<p>【目的】文化遺産に対する市民の意識向上と理解を深めるために歴史民俗資料の保存と展示の内容充実を図る。</p> <p>【内容】○歴史民俗資料館の管理運営 ○企画展の開催</p> <p>【効果】企画展を開催することにより、文化遺産に対する市民の意識向上と理解が更に深められる。</p> <p>【平成23年度当初予算額】 4,530千円</p>	<p>○歴史民俗資料館の管理運営 収蔵庫ガス燻蒸・エレベーター保守点検・警備委託等 ○企画展「日向国府跡発掘調査速報展1」の開催 展示内容 23年度の調査成果・官衙遺跡関連出土遺物・日向国府跡周辺の同時代遺跡と古代の出土遺物等 期 間 平成23年12月6日～12月18日 入館者数 大人60名 小人2名</p> <p>なお、入館者数を昨年度と比較すると、全体的には12名増であったが、企画展に關しては、昨年257名に対し、本年度62名で、195名の大幅減となり、企画不足と判断した。</p> <p>【平成23年度決算額】 4,290千円</p>
市史編さん事業	<p>【目的】西都市の市史を編さんすることにより、郷土の歴史を記録し、市民に広く理解してもらおうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える。</p> <p>【内容】平成22年度に、編さん委員会で決定した西都市史編さん基本計画(期間5年)に基づき、西都市関係の資料調査収集を平成25年度までに行う。</p> <p>○西都市関係資料調査収集 平成23年度から25年度までに西都市関係の資料調査と収集を行う。</p> <p>○原稿執筆・内容精査・編集 平成24年度中期くらいから26年度までに原稿執筆を行い、26年度に内容精査・編集を終了する。</p> <p>○印刷製本 平成27年度に作成した原稿の校正・印刷製本を行い、2000部市史を発売する。</p>	<p>○西都市関係資料調査収集 県文書センター・県立図書館等の関係機関に保管されている西都市関係資料の収集と西都市内の民間資料の調査を行い、目録を作成した。</p> <p>○西都市史編さん基本計画の一部改定 編集委員会から通史編の分冊について改定の提案があり、編さん委員会で決定した。</p> <p>(変更前) 通史編 2分冊から3分冊 600ページ程度の2分冊または400ページ程度の3分冊 (変更後) 通史編 2分冊 600ページ程度の2分冊</p> <p>○今年度活動内容 ・編さん委員会 2回開催 (平成23年8月12日・平成24年2月22日) 編さん事業全体の進行管理、基本計画の一部改定</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>【効果】 市史の発刊は、地域の歴史的経過を記録し、市民に広く理解してもらおうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える役割を果たす。また、市関係の歴史資料を収集・保存し、市の文化活動に活用できるように整備する。</p> <p>【指標】 市史発刊 2,000部 (平成27年度刊行予定) 【平成23年度当初予算額】 12,720千円</p>	<p>・編集委員会 6回開催 (平成25年5月6日・6月10日・7月22日・8月26日・10月27日・平成24年1月25日) 基本計画に基づき、刊行計画、目次案、資料調査、執筆について協議</p> <p>【実績】 平成27年度完成の予定 【平成23年度決算額】 10,642千円</p>
市民会館管理事業	<p>【目的】 指定管理者による管理運営。</p> <p>【内容】 平成23年度からは指定管理者による管理運営となったが、市民の文化、教養及び福祉の増進を図るため、引き続き会館としての役割を継続する。ホール及び会議室等の貸し出し、文化事業の運営のためには、各種保守点検を定期的に行い、利用者の利便性・安全性を確保しておく必要がある。</p> <p>【効果】 市民の文化芸術鑑賞や提供や舞台発表など、文化交流の場としての環境確保が図られる。</p> <p>【指標】 市民会館利用者数 35,000人 【平成23年度当初予算額】 37,883千円</p>	<p>西都市民会館文化事業 (7事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回さいと少年少女芸能祭 (7月3日) ・第12回オカリナ&太鼓コンサート (9月3日) ・人形劇「ねざぼうずのあさたろう/ピーターとおおかみ」(10月15日) ・海援隊トーク&ライブ2012 (1月29日) ・サウンド・スクエア8 (2月5日) ・芹洋子ふれあいコンサート (2月18日) ・さいと春の舞祭典 (3月18日) <p>なお、市民会館の利用者数は指標に達しなかった。</p> <p>【実績】 市民会館利用者数 32,216人 【平成23年度決算額】 38,635千円</p>

総合評価

「教育委員会の活動」については、教育委員会の付議事件等を事前に教育委員に配布することにより、活発な協議が行われました。また、学校の現況を把握するための学校訪問や各種教育委員研修など積極的に参加しました。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、概ね執行しています。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、各事業は概ね計画どおり執行していますが、一部達成度が低いものがあります。

今後は、それらも含め各事業の達成度が更に高まるよう、第4次西都市総合計画及び教育基本方針並びに教育施策に基づいて事業推進に鋭意努力します。

点検・評価委員の意見

平成23年度に実施した教育委員会の権限に属する事務の執行の状況に関して点検・評価を行った結果、第4次西都市総合計画及び教育基本方針並びに教育施策に基づく目標等については、概ね達成していると思います。

大項目3（教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務）において、様式的大幅な改善により、教育費の全事業を網羅し、事業ごとに説明・評価を付したことは、執行の状況等が具体的にわかるようになり評価できます。また、達成度が5に満たない事業について、点検・評価委員の意見によりその理由を記載したことは、評価内容がわかりやすくなりました。

今後も、改善等に取り組んでいただき、達成度が更に高まることを期待します。